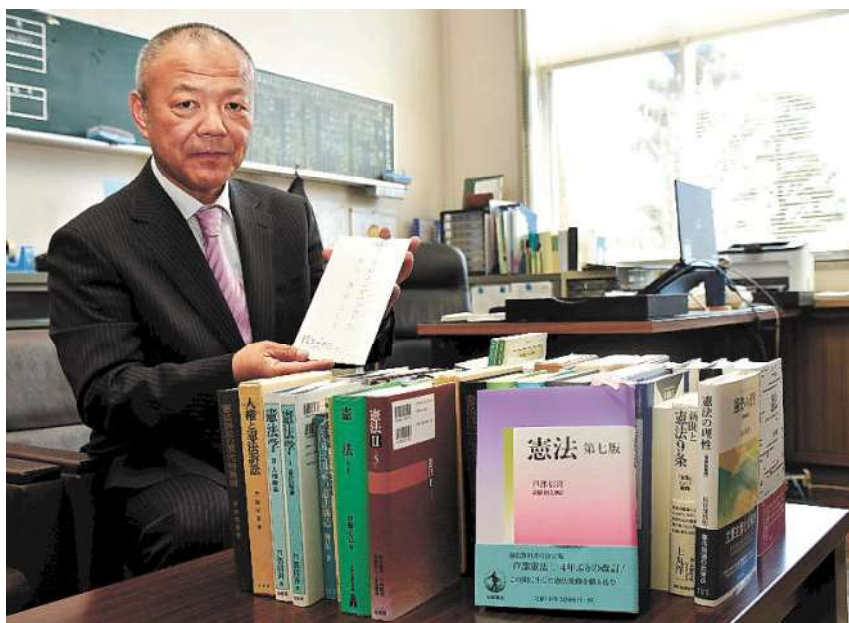


憲法書籍 母校伊那北高に寄贈

40冊 元最高裁判事的那須さん



那須さんが寄贈した書籍を前にする埋橋校長

芦部憲法学コーナーに

伊那市出身の元最高裁判事で弁護士的那須弘平さん(77)が11日、戦後日本を代表する憲法学者、芦部信喜

さん(1923〜99年)の著作を中心とする憲法関係の書籍40冊を母校伊那北高校に寄贈した。



那須弘平さん

信濃毎日新聞の連載「芦部信喜 平和への憲法学」をきっかけに、芦部さんの母校でもある同校の図書室に芦部憲法学コーナーができたこと知り、蔵書充実のため思い立った。寄贈したのは体系書の「憲法」第4、6、7版(岩波書店)、「憲法学」I、II、III

(有斐閣)や専門書の「現代人権論」「憲法訴訟の現代的展開」(ともに有斐閣)など芦部さん関係が23冊。この中には芦部さんが学生の質問に答える形で解説した「憲法の焦点」(同)も2分冊ある。このほか芦部さんの教え子

の憲法学者高見勝利さん、高橋和之さん、渋谷秀樹さん、長谷部恭男さんらの著作が17冊ある。

多くは那須さんが2006〜12年の最高裁判事時代に判決文を書く参考にしたたり、その後の弁護士時代の論文執筆に活用したりしたという。那須さんは「芦部さんは日本の憲法学に大きな影響を与えた。その業績に触れ、刺激にしてほしい」と期待している。

本は同窓会事務局に送り、11日、埋橋浩校長に届けられた。7冊だった芦部憲法学コーナーの本は一気に増える。

伊那北高の校章は「ペンは剣より強し」にちなみ、平和を希求する理念を象徴した「クロスペン」。埋橋校長

沢で4回

史さん(63)はこれまでに4回、皇居のタヌキに

招きたい」。関谷さんが教頭を務めていた上田市の中学校に、宮内庁から電話があったのは2008年7月。翌8月、天皇、皇后両陛下が滞在する軽井沢町のホテルでの夕

話の話題で盛り上がった。12年には「タヌキの研究仲間を紹介してほしい」と宮内庁に頼まれ、大学で同じ研究室だった教員と2人で、軽井沢町に滞在中の陛下を訪問。県内の

は「憲法を反映しており、芦部さんの憲法学にも通じる。生徒たちが今後の学習に生かしてほしい」と話した。